

財政収支(1-9月)

(1) 1-9月の歳入は前年同期比48.0%増、税収は同51.0%増。歳出は前年同期比42.8%増。
(2) 1-9月の財政収支は1兆2,172.78億リラの赤字、プライマリーバランスは4,451.03億リラの黒字。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2024年1-9月(A)	2025年1-9月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	60,846.19	90,049.24	48.0%
税収	51,340.59	77,535.06	51.0%
所得税	10,166.22	19,475.38	91.6%
法人税	6,720.70	8,600.35	28.0%
付加価値税(国内及び輸入)	16,643.95	23,294.01	40.0%
特別消費税	9,988.35	13,941.57	39.6%
その他税収	7,821.37	12,223.75	56.3%
税外収入等	9,505.60	12,514.18	31.7%
歳出(b)	71,586.37	102,222.02	42.8%
人件費	20,067.36	27,388.16	36.5%
物品及びサービスの購入	4,544.68	6,609.04	45.4%
経常移転	27,403.30	38,077.03	39.0%
資本支出	5,328.61	7,626.69	43.1%
支払利子(c)	9,126.86	16,623.80	82.1%
その他歳出	5,115.56	5,897.30	15.3%
財政収支(a-b)	▲ 10,740.18	▲ 12,172.78	▲ 13.3%
基礎的財政収支(a-(b-c))	▲ 1,613.32	4,451.03	375.9%

経常収支(1-8月)

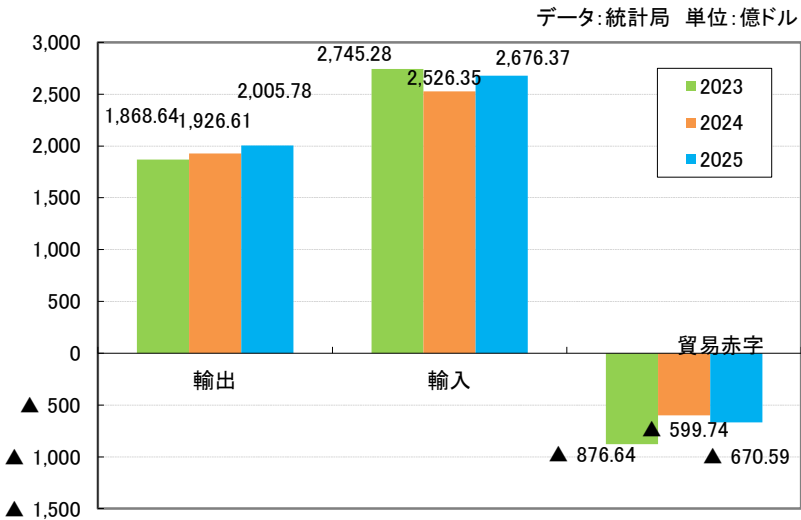
(1) 1~8月の経常収支は、158.54億ドルの赤字(前年同期は79.98億ドルの赤字)。
(2) 1~8月の貿易収支(物品)は445.28億ドルの赤字で前年同期から赤字幅拡大、旅行収支は327.22億ドルの黒字で前年同期から黒字幅は拡大。

データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2024年1~8月(A)	2025年1~8月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 79.98	▲ 158.54	▲ 98.2%
貿易収支(物品)	▲ 379.01	▲ 445.28	▲ 17.5%
サービス収支	403.25	412.35	2.3%
旅行収支	322.82	327.22	1.4%
第1次所得収支	▲ 103.94	▲ 120.62	▲ 16.0%
第2次所得収支	▲ 0.28	▲ 4.99	▲ 1682.1%
労働者送金	0.72	0.45	▲ 37.5%
資本移転等収支	▲ 1.05	▲ 1.96	▲ 86.7%
金融収支	▲ 116.24	▲ 268.67	▲ 131.1%
直接投資	▲ 29.47	▲ 43.94	▲ 49.1%
証券投資	▲ 109.62	14.52	113.2%
その他投資	57.04	▲ 211.02	▲ 470.0%
外貨準備	▲ 34.19	▲ 28.23	17.4%
誤差脱漏	▲ 35.21	▲ 108.17	▲ 207.2%

貿易収支(1-9月)

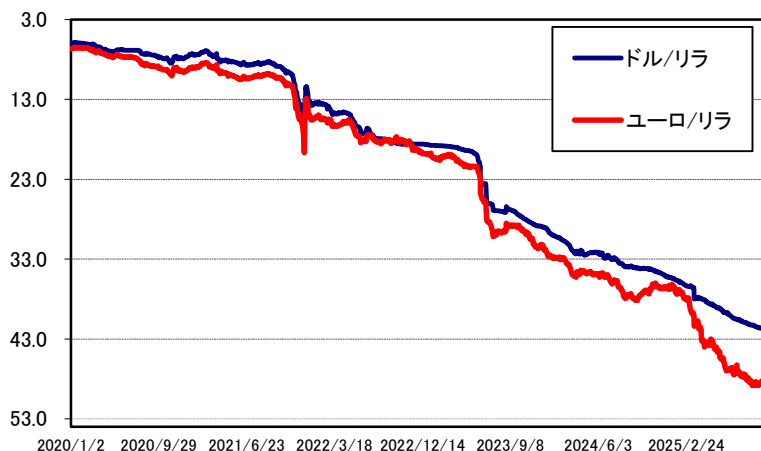
(1) 1-9月の輸出額は2005.78億ドル(前年同期比4.1%増)、輸入額は2,676.37億ドル(同5.9%増)となり、この結果、貿易収支は670.59億ドルの赤字(同11.8%赤字幅拡大)。
(2) 1-9月の輸出額におけるEU向けの割合は43.2%(前年同期は41.6%)、輸入額におけるEUからの割合は31.7%(前年同期は32.2%)となっている。



為替(10月)

10月の為替相場は、中銀が市場予想通り利下げを行うなど、特段の材料は無く、対ドル・対ユーロ共に反応は限定的。月末時点では1ドル=41.89リラ(前月末比0.93%安)、1ユーロ=48.46リラ(前月末比0.59%高)となった。

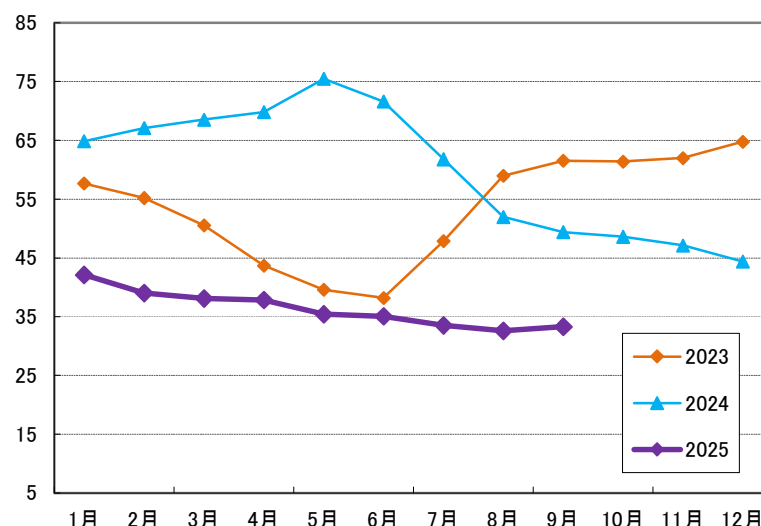
データ: 中央銀行 単位: リラ



消費者物価上昇率(9月)

- (1) 9月の消費者物価は前年同月比33.29%増、前月比3.23%増。
- (2) 項目別にみると、前年同月比では教育が66.10%増となり最も上昇した。前月比においても教育が17.90%増となり最も上昇した。
- (3) 国内生産者物価指数(9月)は前年同月比26.59%増、前月比2.52%増となった。

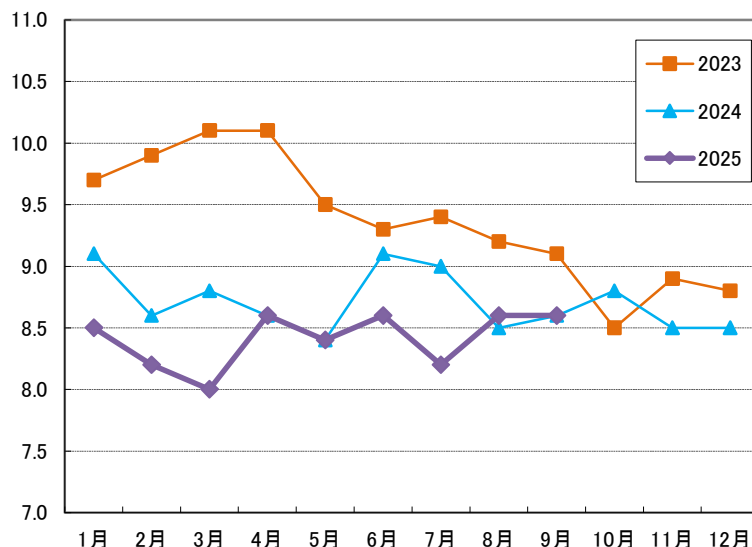
データ: 統計庁 単位: 前年同月比(%)



失業率(9月)

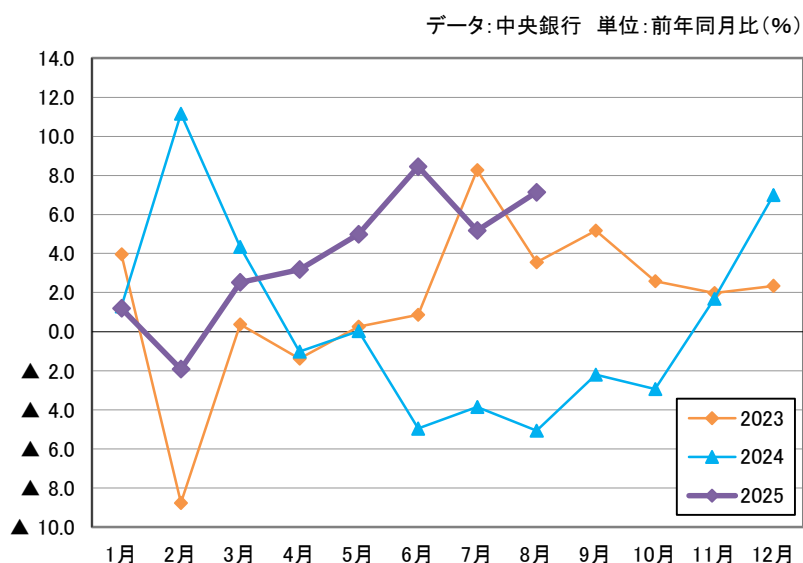
- (1) 9月の失業率(季節調整後)は8.6%となり、前月から変化なし。
- (2) 労働力人口は3,556.6万人、就労者数は3,249.1万人、失業者数は307.5万人。
- (3) 男性の失業率は7.4%、女性は11.1%。若年層(15-24歳)の失業率は14.9%となっている。

データ: 統計庁 単位: %



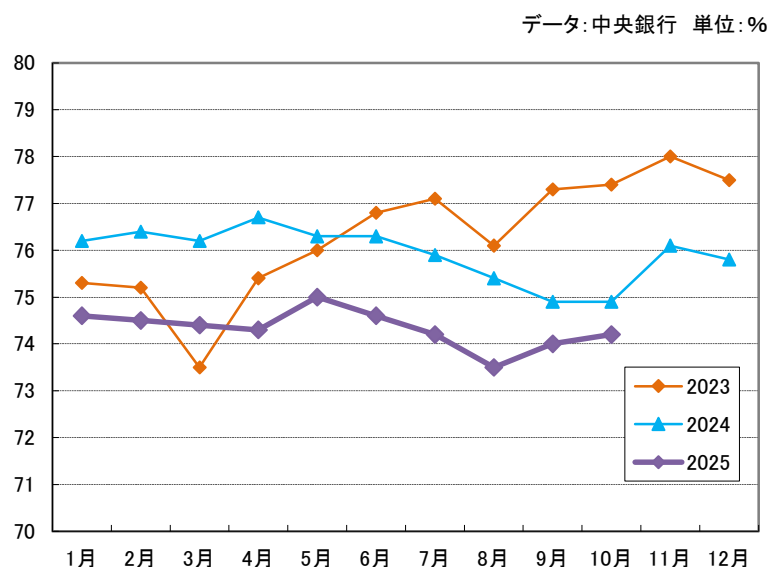
鉱工業生産(8月)

(1)8月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)7.1%増。
(2)分野別では、資本財が前年同月比21.0%増、中間財が同6.2%増、耐久消費財が同4.6%減となった。



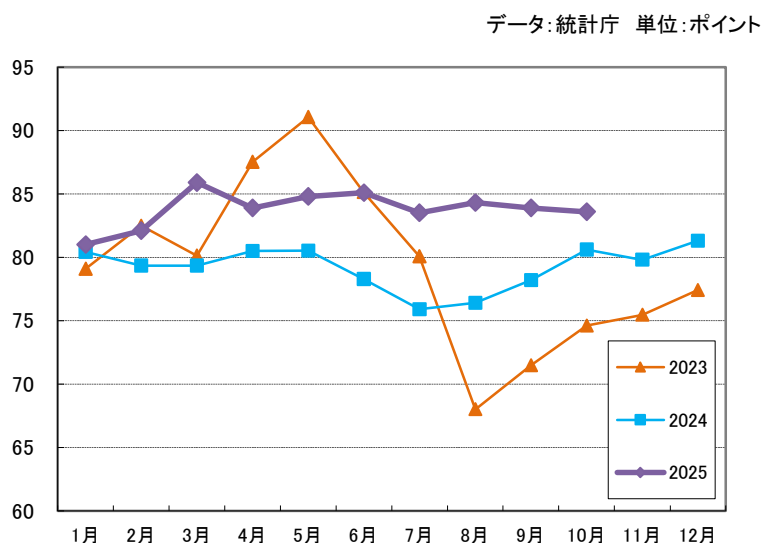
設備稼働率(10月)

(1)10月の設備稼働率は74.2%となり、前月から0.2ポイント上昇、前年同月から0.7ポイント低下。
(2)製造業の分野別では、たばこ製造業(85.7%)が最も稼働率が高く、その他機械器具製造業(63.9%)が最も低い稼働率であった。



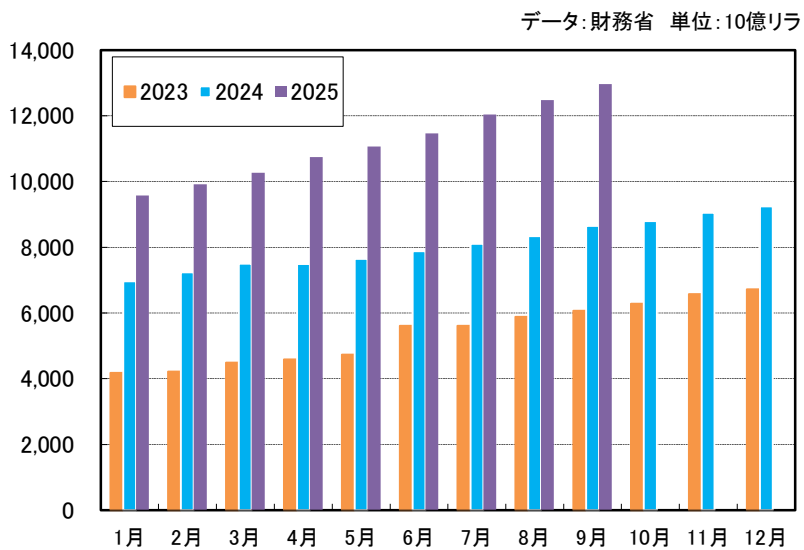
消費者信頼感指数(10月)

(1)10月の消費者信頼感指数(季節調整値)83.6ポイントとなり、前月から0.3ポイント低下。
(2)内訳では、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」及び「今後12か月間の一般経済状況見通し」は前月から上昇。「現在の家計の財政状況」及び「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から低下。



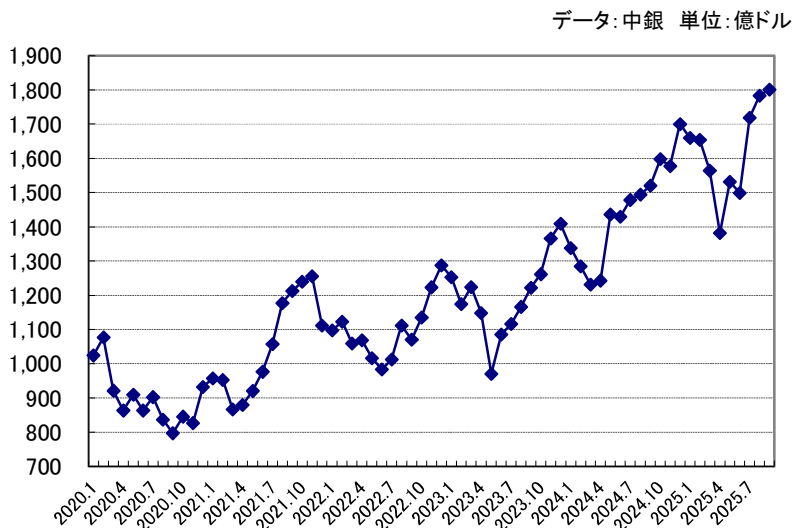
中央政府債務残高(9月)

(1)9月末時点での中央政府債務残高は12兆9,640億リラとなり、前年同月比49.9%増、前月比3.9%増となった。
 (2)また、国内債務比率は58.6%、自国通貨債務比率は46.9%(2024年末は43.9%)となっている。
 (3)なお、債務残高のうち円は0.4%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。



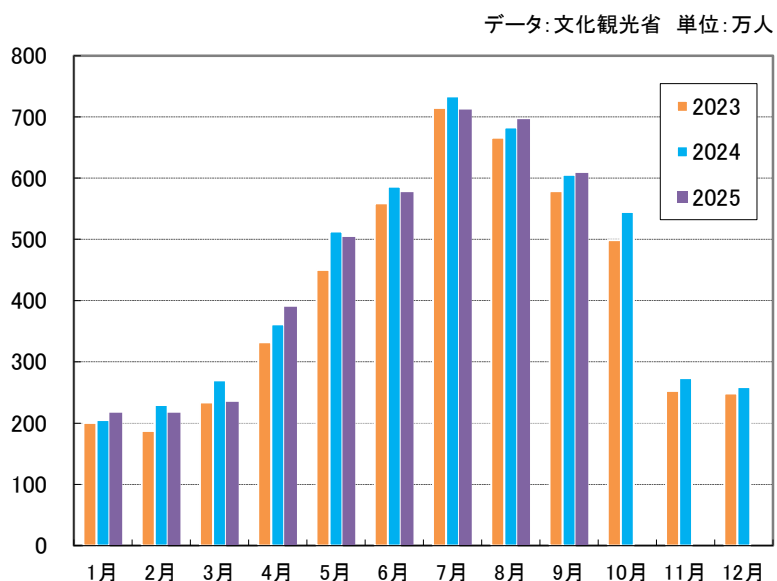
外貨準備高(9月)

(1)9月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,801.21億ドルとなった。
 (2)前月から17.64億ドル増加した。



外国人訪問者数(9月)

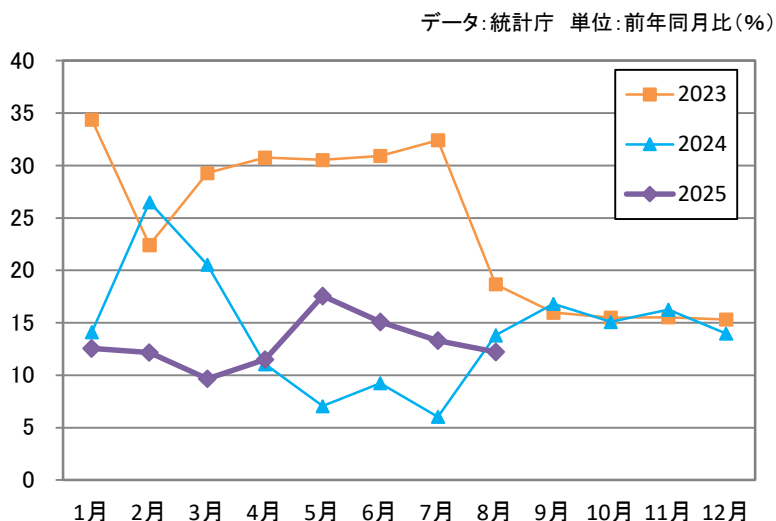
(1)9月の外国人訪問者数は6,087,374人で、前年同月比0.54%増。日本は18,451人であった(前年同月16,458人)。
 (2)国別ではロシアが最も多く、971,226人で全体の15.95%を占め、以下ドイツ(817,182人)、イギリス(539,605人)となっている。



小売売上高(8月)

(1)8月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)12.2%増、前月比(季節及び日数調整後)0.9%増。

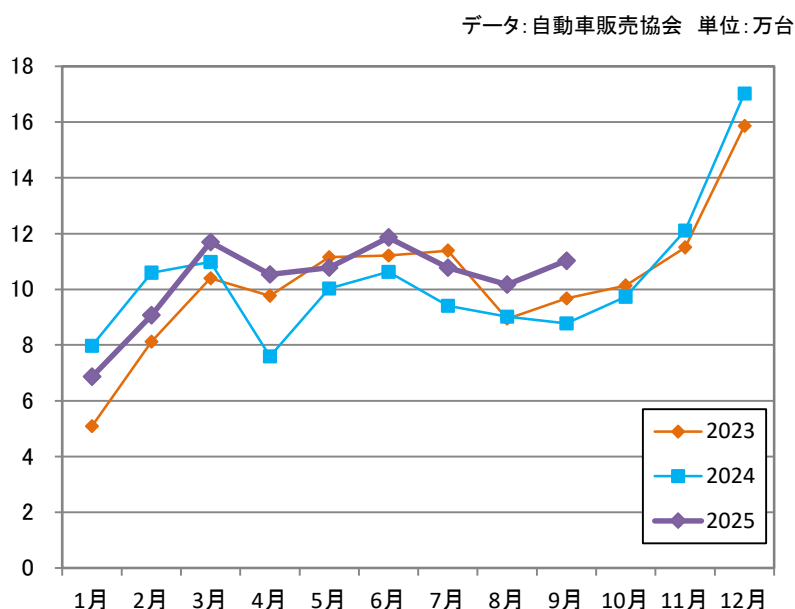
(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比9.6%増、情報・通信機器が同21.9%増となった。



新車販売台数(9月)

(1)9月の新車販売台数は110,302台で前年同月比25.7%増。

(2)9月の内訳は乗用車が88,274台(前年同月比26.8%増)、小型商用車が22,028台(同21.7%増)となった。

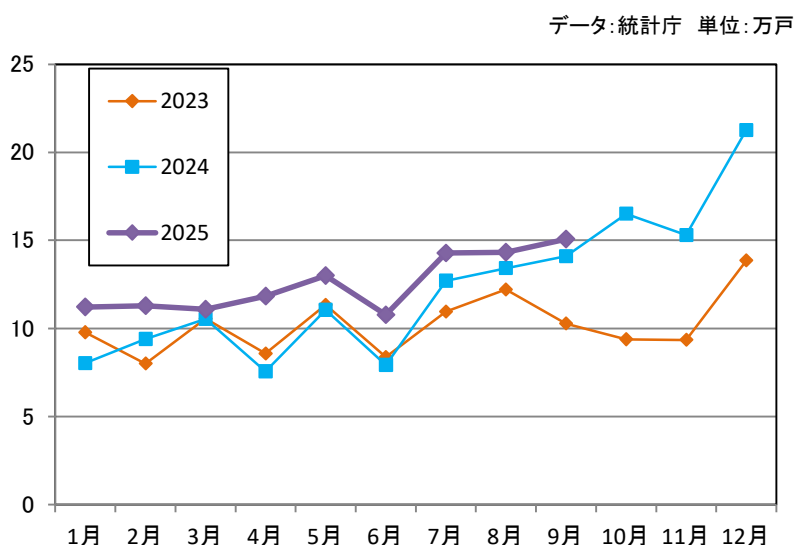


住宅販売戸数(9月)

(1)9月の住宅販売戸数は150,657戸で前年同月比6.9%増となった。

(2)9月は新築が47,117戸(前年同月比5.0%増)、中古が103,540戸(同7.8%増)。

(3)9月の住宅ローンでの購入は21,266戸(前年同月比34.4%増)、その他が129,391戸(同3.4%増)。



※本資料は、当館がトルコ政府発表資料を取り纏めた参考資料であり、当館がその正確性等を保証するものではありません。